

モニタリング結果報告書

施 設 茅ヶ崎里山公園
指定管理者 公益財団法人神奈川県公園協会
施設所管課 藤沢土木事務所

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

＜判定理由＞

施設の魅力向上のため、茅ヶ崎里山公園倶楽部との連携などを通じて提案に沿った取り組みを実施すると共に、広報活動にも積極的に取り組んだ。

また、経費の節減等により、概ね良好な収支状況にあること、利用者満足度調査結果や事故の対応状況も特に問題がないことから、B判定とした。

A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10	11. 10	11. 30	○	○	○	なし	特になし
11	12. 12	12. 27	○	○	○	なし	特になし
12	1. 10	1. 27	○	○	○	なし	特になし
1	2. 10	2. 29	○	○	○	なし	特になし
2	3. 12	3. 30	○	○	○	なし	特になし
3	4. 10	5. 1	○	○	○	なし	特になし

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

＜提案内容の概要＞

地域と連携した県民参加型の実施

・地域社会の健全な発展に寄与することを目的としたイベント。

①津軽三味線演奏会

(協力：和楽会「昇」)

②紙芝居パチパチ座

(協力：紙芝居パチパチ座)

③紙芝居公演

(協力：茅ヶ崎市紙芝居研究会 さわやか)

④ちがさきレインボーフェスティバル

(主催：ちがさきレインボーフェスティバル実行委員会)

⑤民話の語り

(主催：茅ヶ崎民話の会)

⑥新春風揚げ大会

(主催：茅ヶ崎里山公園地域連絡協議会)

⑦手作りカルタ遊び

(主催：母親倶楽部わかば会)

⑧C-1 グランプリ

(主催：一般社団法人茅ヶ崎市観光協会)

・みどり、環境の保全と創造の普及啓発を図ることを目的としたイベント

①自然観察会

(協力：柳谷の自然に学ぶ会)

<実施状況>

10月	畜産まつり	参加人数	1,000人
	里山クラフト教室	参加人数	120人
	津軽三味線演奏会	参加人数	150人
11月	青空歌声大会	参加人数	250人
	ちがさきレインボーフェスティバル	参加人数	42,000人
	花による絵画展	参加人数	1,300人
	秋の里山公園まつり	参加人数	15,000人
12月	神奈川県公園協会フォトコンテスト作品展	参加人数	3,000人
	C-1 グランプリ	参加人数	4,700人
1月	新春風揚げ大会	参加人数	2,000人
3月	紙芝居パチパチ座	参加人数	50人

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	108,306 (102,661)	108,306 (102,661)	0 (0)	0 (0)	108,306 (102,661)	0 (0)
下半期予算額	54,297	54,297	0	0	54,297	0
10月	7,793	7,793	0	0	8,612	△819
11月	8,884	8,844	0	0	7,996	847
12月	11,583	11,583	0	0	10,972	610
1月	7,873	7,873	0	0	6,938	934
2月	7,678	7,678	0	0	7,881	△203
3月	10,526	10,526	0	0	10,673	△147
今年度 半期計	54,297	54,297	0	0	53,075	1,221
前年度 同期計	51,513	51,513	0	0	50,737	776

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
- ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	7,442 千円	倒木処理 (1,906 千円)、設備改修等 (5,536 千円)
下半期	2,425 千円	管理柵補修 (1,147 千円)、 井戸ポンプ改修 (1,278 千円)
総額	9,867 千円	

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	46,910人	42,829人	9.5%
11月	93,205人	96,689人	△3.6%
12月	27,470人	28,952人	△5.1%
1月	28,488人	35,812人	△20.5%
2月	23,015人	28,680人	△19.8%
3月	40,443人	32,092人	26.0%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計		232,434人	226,322人	—	2.7%
今年度下半期計		259,531人	265,054人	—	△2.1%

利用状況に関する意見等

- ①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）
- ②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。
なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

- ①、② 該当なし

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
下半期報告						
合計	2 (0)	3 (0)	2 (0)	3 (0)	4 (0)	14 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・ベンチの増設要望	土木事務所と調整を行う
	・売店の設置要望	土木事務所と調整を行う
	・	
職員対応	・職員自家用車を管理用駐車場に駐車するのは適当でない。	業務上必要であり今後も使用する
	・	
	・	
事業内容	・公園祭り時での太鼓の音量が大きい	公園祭り周辺への事前周知を行う。
	・公園祭り時でのスピーカーの音量が大きい	音の緩和される場所の選定を検討する
	・駐車場の有料化に疑問	県の施策に対する理解を求める。
その他	・	
	・	

8 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	事故概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
10月1日	公園倶楽部の活動中に、子供が手押ポンプを操作していた際、親指がポンプレバーに挟まり、怪我。	看護師（公園倶楽部会員）による応急措置後、病院に搬送。当該ポンプレバーに指飲み防止用のカバーを設置。県へ事故報告。	今回の事故は注意喚起をしていたにもかかわらず、利用者の不注意によるものであり指定管理者の瑕疵はない、併せて事故発生後の指定管理者の対応適切の行われており、特段の課題は無い旨確認した。なお、指導を通じて安全管理を徹底するよう指示した。
10月24日	丸鋸を使用して丸太のコースターを作成していたところ、丸太を押さえていた指が機械に挟まり、左人差し指を裂傷。	救急車を要請し、病院に搬送。県へ事故報告。	今回の事故は注意喚起をしていたにもかかわらず、利用者の不注意によるものであり指定管理者の瑕疵はない、併せて事故発生後の指定管理者の対応適切の行われており、特段の課題は無い旨確認した。なお、指導を通じて安全管理を徹底するよう指示した。

9 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒ 該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 上(下)半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>毎朝パトロールを実施し、安全・安心・清潔さを心がけて、利用者に満足されるような維持管理を実施してきた。また、公園まつりなど地域と連携したイベントの継続実施を通じて、地域との連携を良好な関係に構築した。また、園内には保全区域が設定されていることから、この区域の維持管理については保全クラブ等と連携して適正な維持管理に努めてきた。今後の課題としては、さらに利用促進を図る観点から、里山倶楽部の活動状況など園内における情報展示イベントの案内や地域情報の発信などを通じて、情報発信拠点としての機能をさらに充実する取り組みが必要と考えている。</p>
施設所管課	<p>職員が一体となって、清掃等に心がけ、快適な公園の維持管理を行っており、里山の特性に合致した緑地空間が維持されている</p> <p>また、公園祭りなど、地域と連携した各種イベントを積極的に実施しており、イベントに関しては、地域との協力関係も良好な状況になっている。</p> <p>今後は、地域住民等の意見を反映できる里山公園連絡会議(仮称)を早期に設置するとともに、指定管理者と協働で里山の多様な生態系の保全や、啓発活動等に取り組んでいる茅ヶ崎里山倶楽部等と連携するなど、自然観察や伝統農業による体験型の活動等を通じて、当公園の更なる魅力アップと公園利用の促進を図る様々な取り組みを考えてもらいたい。</p>